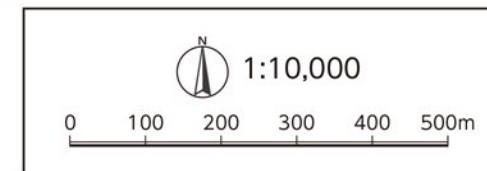


地図 1

凡例					

洪水浸水想定		… 5m以上~10m未満	重要水防箇所
		… 3m以上~5m未満	
		… 0.5m以上~3m未満	
		… 0.5m未満	



洪水ハザードマップについて

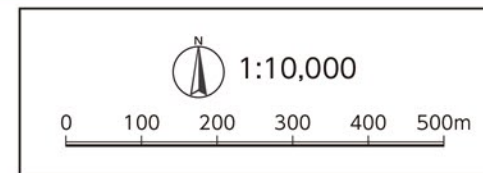
河川の洪水浸水想定において大川市に關係する河川は筑後川、佐賀江川、城原川、矢部川、沖端川があります。国土交通省及び福岡県は、最大規模の大雨を想定し、河道状況やダムの洪水調整効果等からシミュレーションを行い、氾濫した場合に浸水が想定される区域と深さを示した浸水想定図を作成しています。このマップは、上記すべての河川の想定を重ね合わせ、浸水区域と最も深くなる浸水深を示したものです。大雨が発生し市から避難指示などが出された場合や自分で「危ない」と判断した場合には、すみやかに避難してください。その時にあてないように、この地図を参考にして日頃から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。



地図 2

凡例				

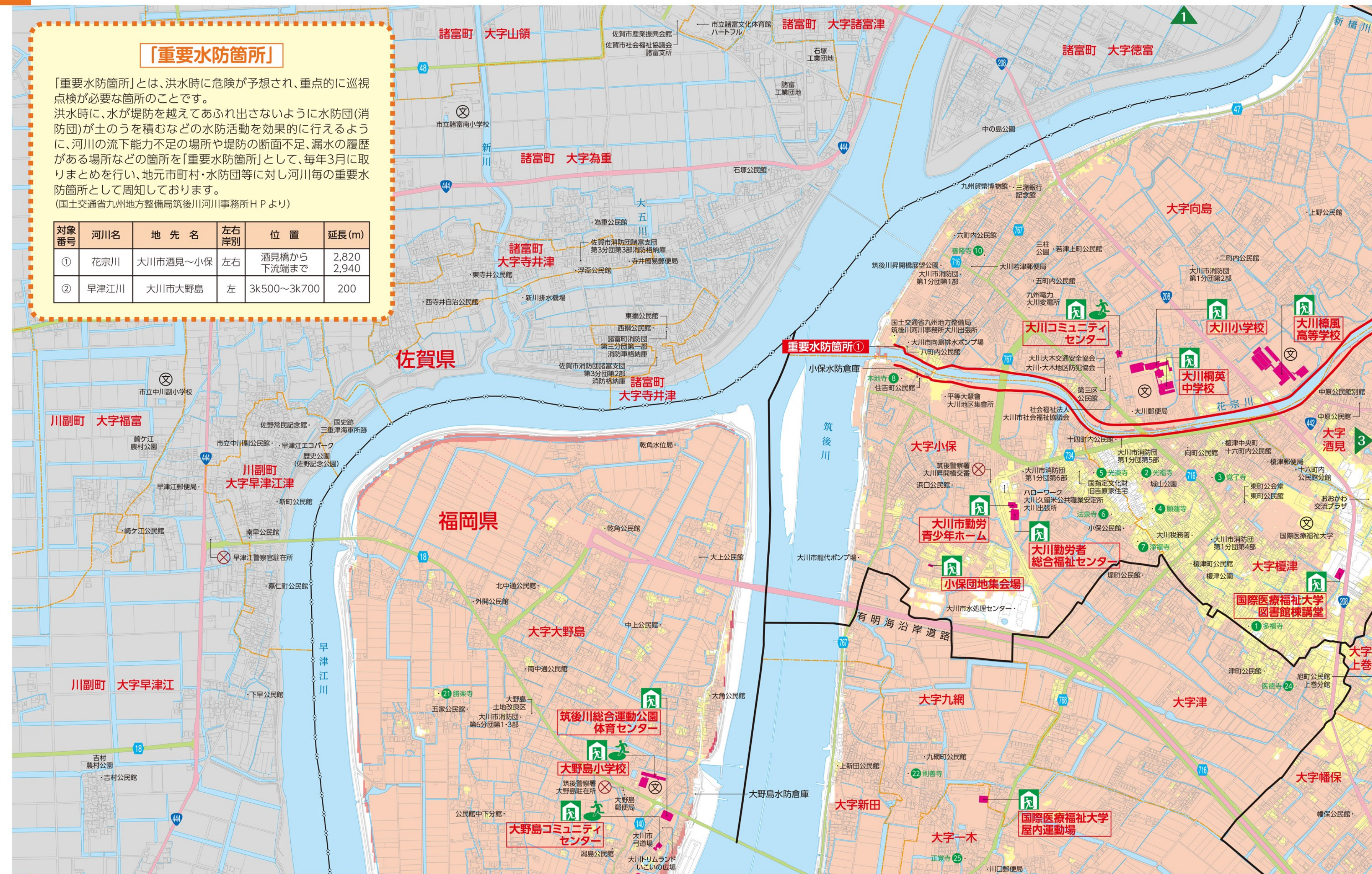
洪水浸水想定 浸水深区分		… 5m以上~10m未満	重要水防箇所
		… 3m以上~5m未満	
		… 0.5m以上~3m未満	
		… 0.5m未満	



「重要水防箇所」

「重要水防箇所」とは、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所のことです。洪水時に、水が堤防を越えてあふれ出さないように水防団(消防団)が土のうを積むなどの水防活動を効果的に行えるように、河川の流下能力不足の場所や堤防の断面不足、漏水の履歴がある場所などの箇所を「重要水防箇所」として、毎年3月に取りまとめを行い、地元市町村・水防団等に対し河川毎の重要水防箇所として周知しております。(国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所HPより)

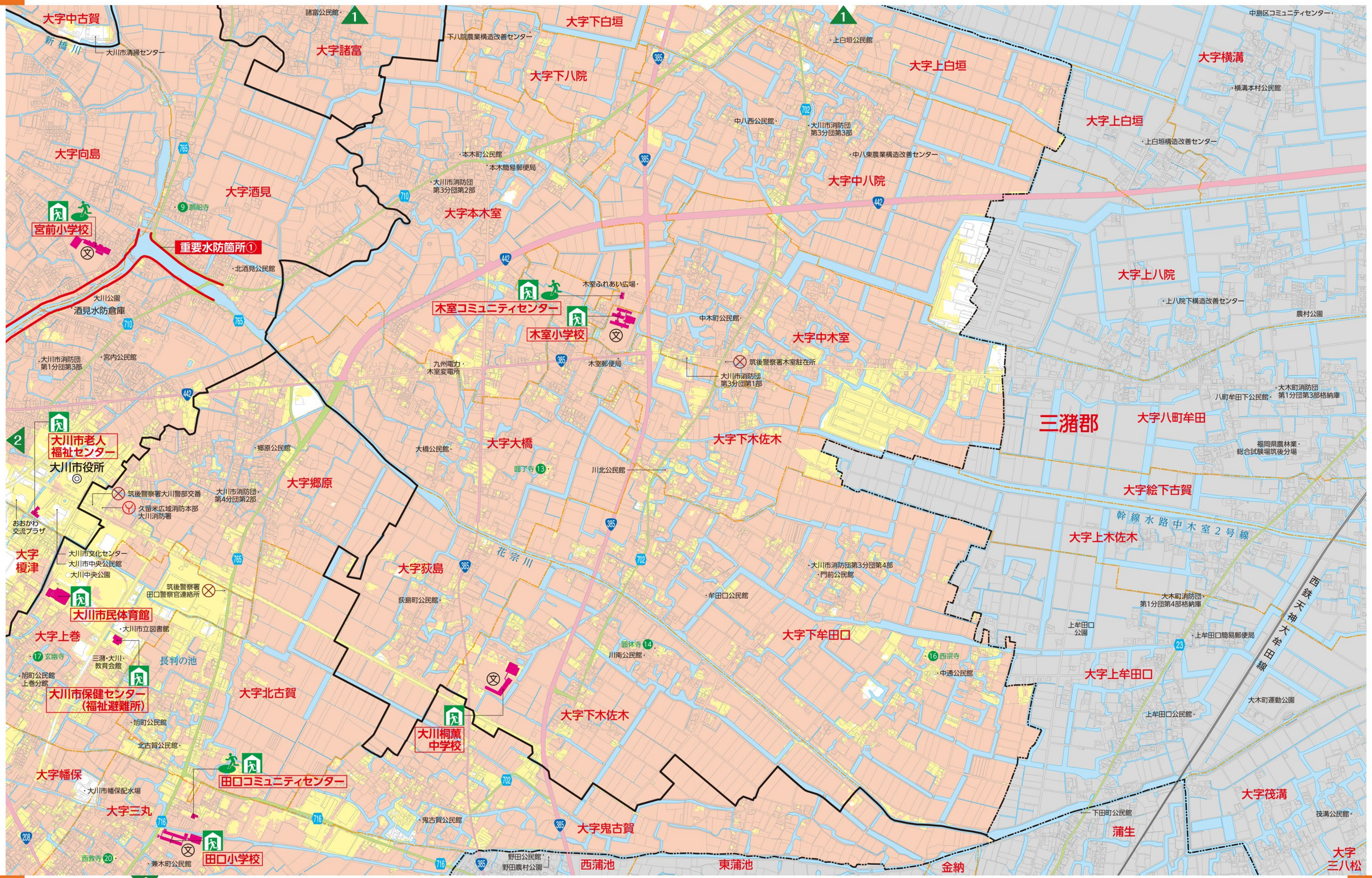
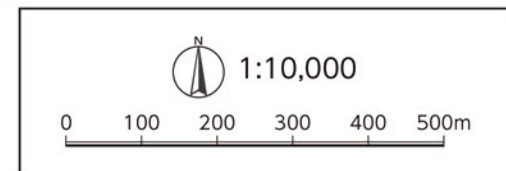
対象番号	河川名	地先名	左右岸別	位置	延長(m)
①	花宗川	大川市酒見~小保	左右	酒見橋から下流端まで	2,820 2,940
②	早津江川	大川市大野島	左	3k500~3k700	200



地図 3

凡例					

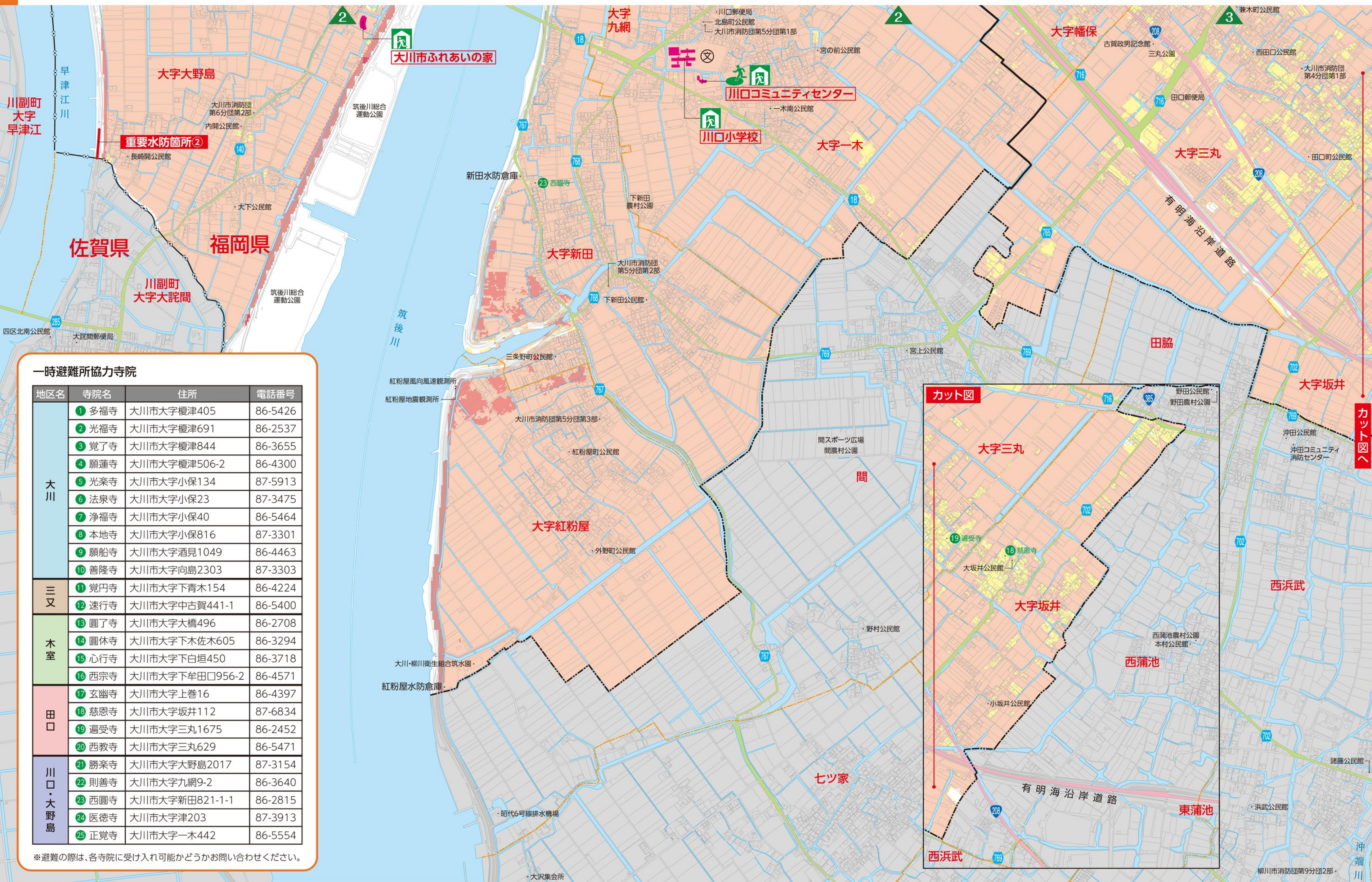
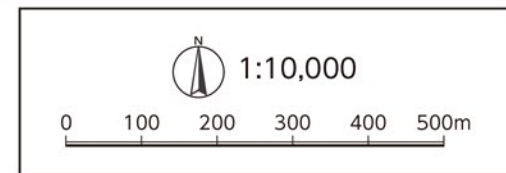
洪水浸水想定 浸水深区分		… 5m以上~10m未満	
		… 3m以上~5m未満	
		… 0.5m以上~3m未満	
		… 0.5m未満	



地図 4

凡例				

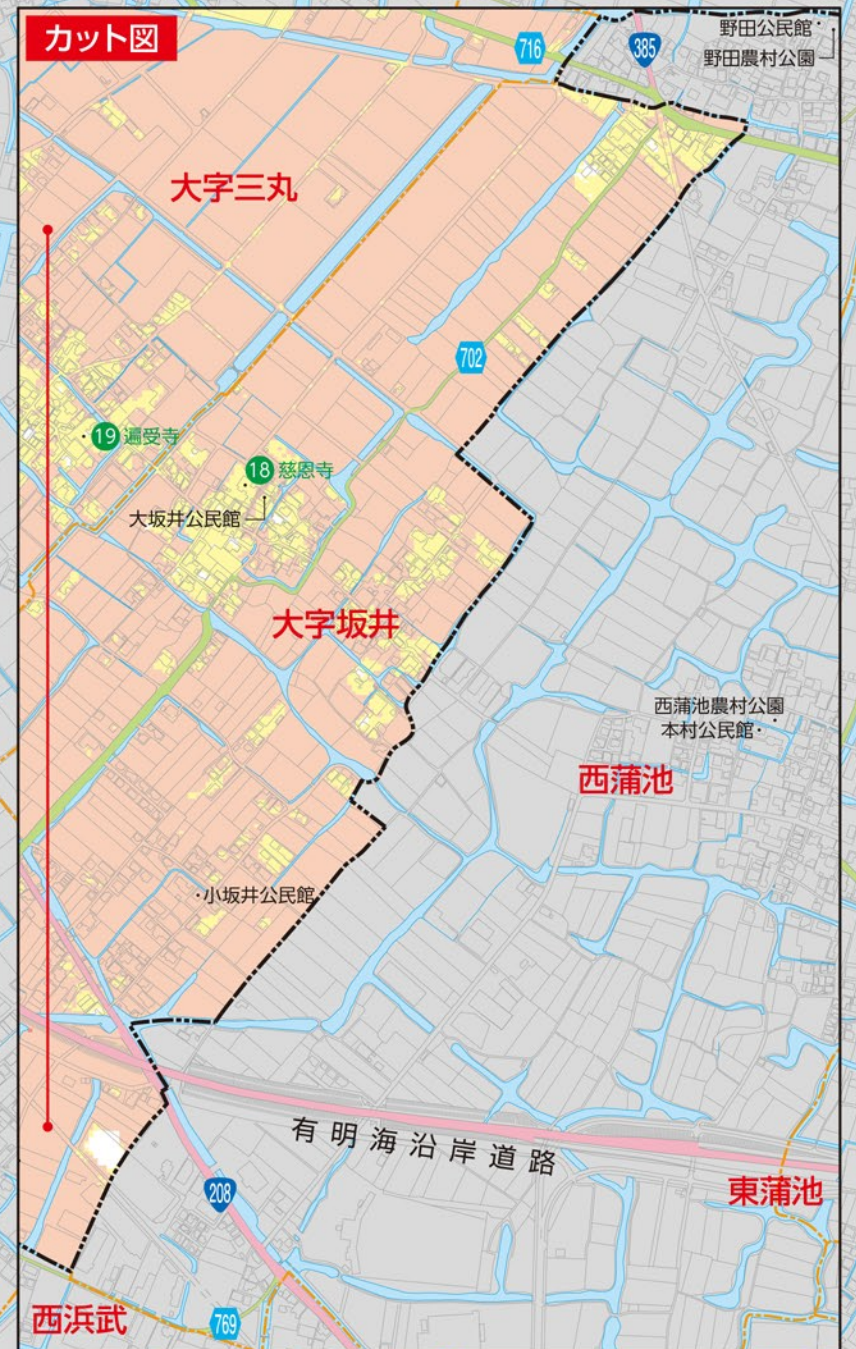
洪水浸水想定 浸水深区分		… 5m以上~10m 未満	重要水防箇所
		… 3m以上~5m 未満	
		… 0.5m以上~3m 未満	
		… 0.5m 未満	



一時避難所協力寺院

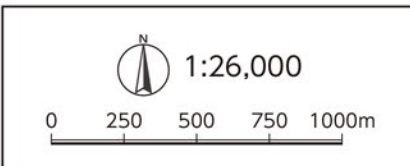
地区名	寺院名	住所	電話番号
大川	① 多福寺	大川市大字榎津405	86-5426
	② 光福寺	大川市大字榎津691	86-2537
	③ 覚了寺	大川市大字榎津844	86-3655
	④ 願蓮寺	大川市大字榎津506-2	86-4300
	⑤ 光楽寺	大川市大字小保134	87-5913
	⑥ 法泉寺	大川市大字小保23	87-3475
	⑦ 浄福寺	大川市大字小保40	86-5464
	⑧ 本地寺	大川市大字小保816	87-3301
	⑨ 願船寺	大川市大字酒見1049	86-4463
	⑩ 善隆寺	大川市大字向島2303	87-3303
三又	⑪ 覚円寺	大川市大字下青木154	86-4224
	⑫ 速行寺	大川市大字中古賀441-1	86-5400
木室	⑬ 圓了寺	大川市大字大橋496	86-2708
	⑭ 圓休寺	大川市大字下木佐木605	86-3294
	⑮ 心行寺	大川市大字下白垣450	86-3718
	⑯ 西宗寺	大川市大字下牟田口956-2	86-4571
田口	⑰ 玄幽寺	大川市大字上巻16	86-4397
	⑱ 慈恩寺	大川市大字坂井112	87-6834
	⑲ 遍受寺	大川市大字三丸1675	86-2452
川口・大野島	⑳ 西教寺	大川市大字三丸629	86-5471
	㉑ 勝楽寺	大川市大字大野島2017	87-3154
川口・大野島	㉒ 則善寺	大川市大字九網9-2	86-3640
	㉓ 西圓寺	大川市大字新田821-1-1	86-2815
	㉔ 医徳寺	大川市大字津203	87-3913
	㉕ 正覚寺	大川市大字一木442	86-5554

※避難の際は、各寺院に受け入れ可能かどうかお問い合わせください。



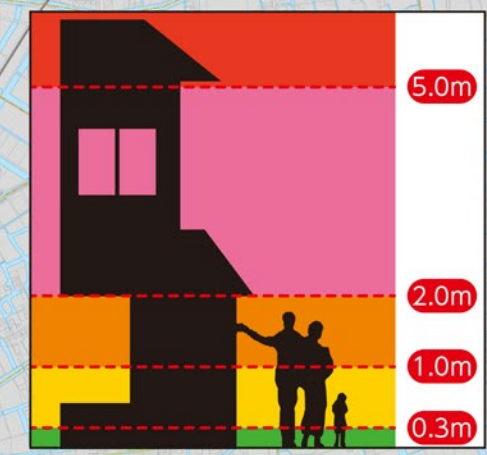
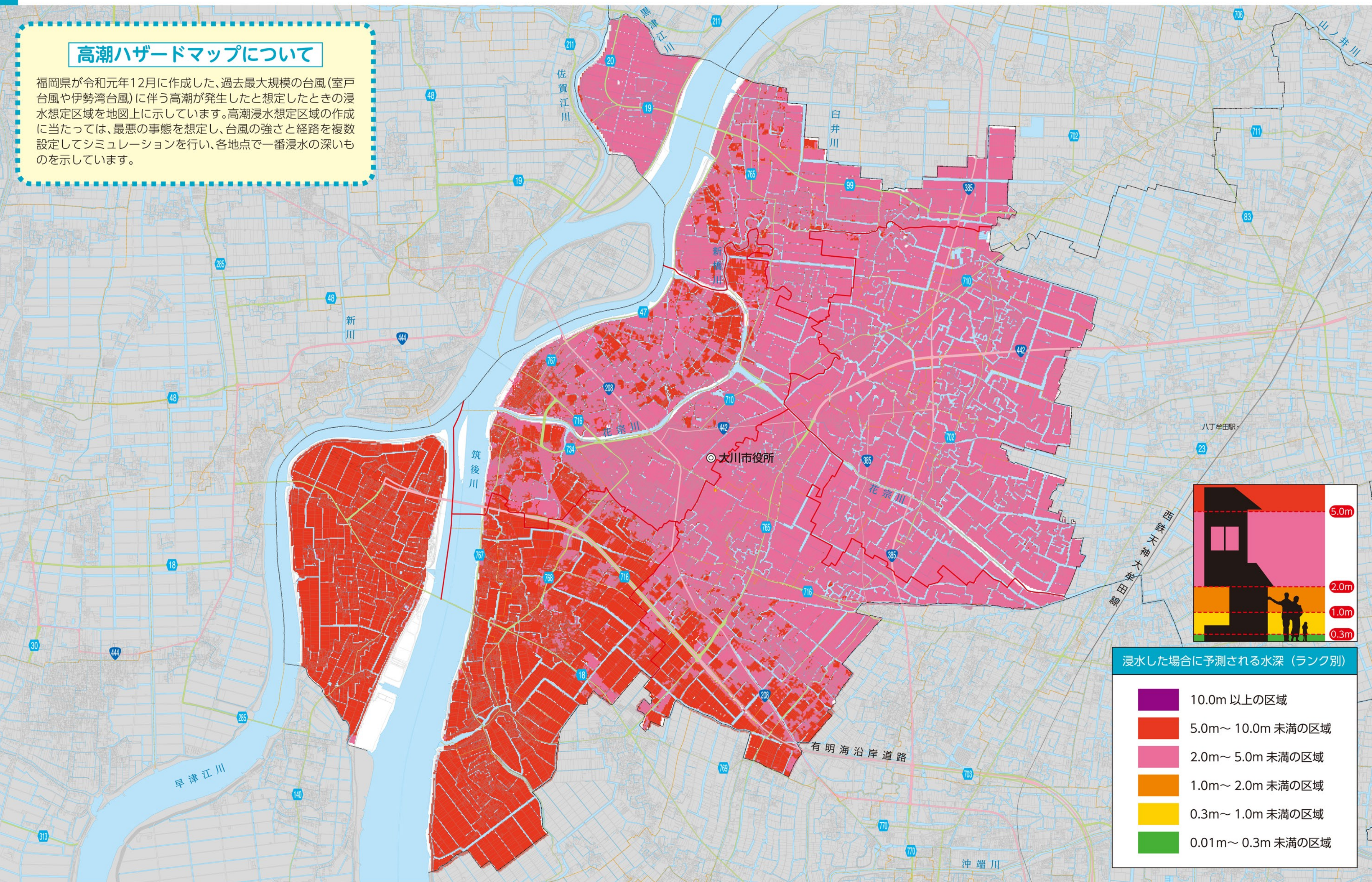
カット図へ

高潮ハザードマップ



高潮ハザードマップについて

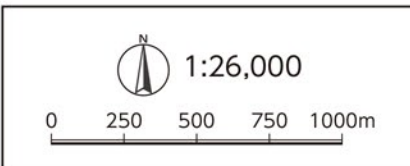
福岡県が令和元年12月に作成した、過去最大規模の台風(室戸台風や伊勢湾台風)に伴う高潮が発生したと想定したときの浸水想定区域を地図上に示しています。高潮浸水想定区域の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、台風の強さと経路を複数設定してシミュレーションを行い、各地点で一番浸水の深いものを示しています。



浸水した場合に予測される水深 (ランク別)

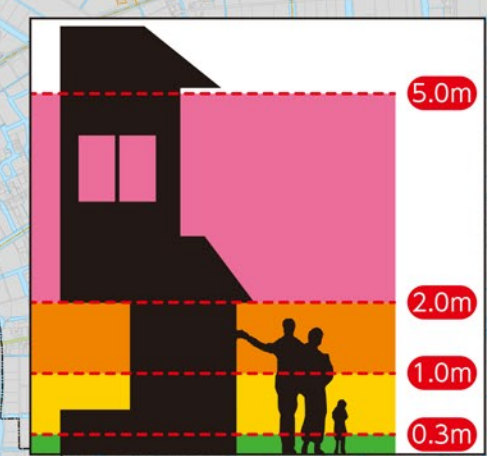
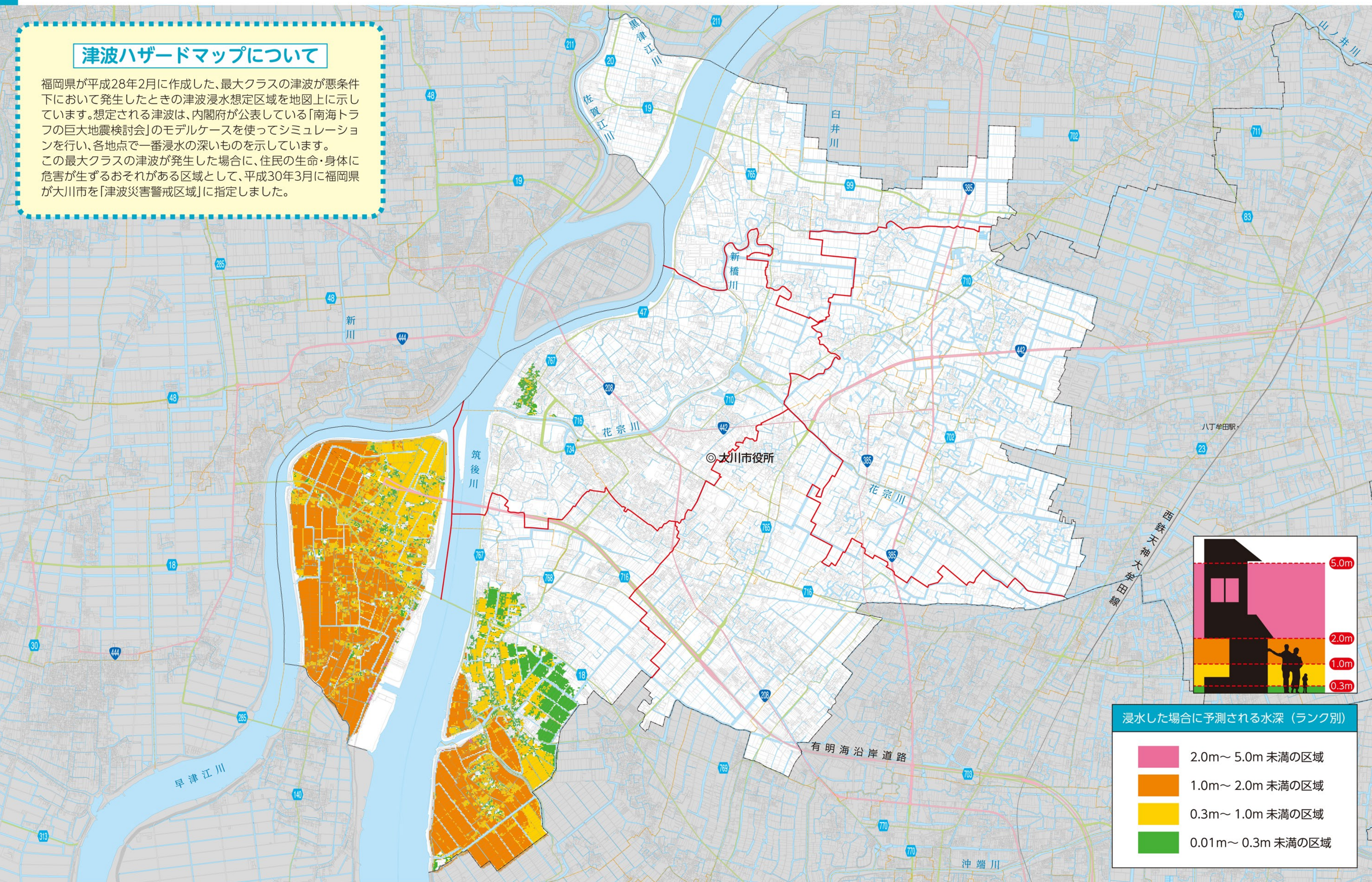
- 10.0m以上の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 2.0m～5.0m未満の区域
- 1.0m～2.0m未満の区域
- 0.3m～1.0m未満の区域
- 0.01m～0.3m未満の区域

津波ハザードマップ



津波ハザードマップについて

福岡県が平成28年2月に作成した、最大クラスの津波が悪条件下において発生したときの津波浸水想定区域を地図上に示しています。想定される津波は、内閣府が公表している「南海トラフの巨大地震検討会」のモデルケースを使ってシミュレーションを行い、各地点で一番浸水の深いものを示しています。この最大クラスの津波が発生した場合に、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域として、平成30年3月に福岡県が大川市を「津波災害警戒区域」に指定しました。



浸水した場合に予測される水深（ランク別）

- 2.0m～5.0m 未満の区域
- 1.0m～2.0m 未満の区域
- 0.3m～1.0m 未満の区域
- 0.01m～0.3m 未満の区域